

【生命環境化学科<生命環境化学コース> 平成19年度(2007年度)入学者用】

区分	必選	科目名	単位数	開講期	1年	2年	3年	4年	
一般 教養 科目	◎	教養基礎ゼミ	2	前	●				
		思想と宗教	2	後		●			
		哲学	2	前		●			
		社会学	2	前	●				
		国際関係論	2	後	●				
		歴史	2	後	●				
		生活健康科学	2	前	●				
		文化論	2	前	●				
		言語文化論Ⅰ(中国)	2	前	●				
		言語文化論Ⅱ(中国)	2	後	●				
		言語文化論Ⅰ(ドイツ)	2	前	●				
		言語文化論Ⅱ(ドイツ)	2	後	●				
		スポーツ文化論	2	前	後	●			
		心理学	2	前		●			
		日本国憲法	2	後		●			
		経済学	2	後			●		
		経営学	2	前				●	
		小計(17科目)	34						
			日本事情Ⅰ ※1	2	休講	●			
			日本事情Ⅱ ※1	2	休講	●			
			日本経済Ⅰ ※1	2	休講	●			
			日本経済Ⅱ ※1	2	休講	●			
			日本語Ⅰ ※1	2	休講	●			
			日本語Ⅱ ※1	2	休講	●			
			小計(6科目)	12					
	外国語科目	◎	英語Ⅰ	1	前	●			
		◎	英語Ⅱ	1	後	●			
		◎	英語Ⅲ	1	前		●		
		◎	英語Ⅳ	1	後		●		
		◎	英語演習Ⅰ	1	前	●			
		◎	英語演習Ⅱ	1	後	●			
		◎	英語演習Ⅲ	1	前		●		
		◎	英語演習Ⅳ	1	後		●		
		小計(8科目)	8						
数学系科目		基礎線形代数	2	前	●				
		基礎線形代数演習	2	前	●				
		応用線形代数	2	後	●				
		応用線形代数演習	2	後	●				
		微分学	2	前	●				
		微分学演習	2	前	●				
		積分学	2	後	●				
		積分学演習	2	後	●				
		確率統計学	2	前		●			
		微分方程式	2	後		●			
	小計(10科目)	20							
理学系科目	◎	基礎化学実験	2	前	後	●			
	◎	基礎化学演習	1	前	後	●			
	◎	展開化学	2	後	●				
	◎	展開化学演習	1	後	●				
	◎	ライフサイエンス	2	前	後	●			
	○	基礎物理実験 ※2	2	前	後	●			
	○	生物学実験 ※2	2	前	後	●			
		基礎化学計算	2	後	●				
		基礎生物学	2	前	後	●			
		生物学	2	後	●				
		基礎物理学	2	前	後	●			
		物理学Ⅰ	2	後	●				
		物理学Ⅱ	2	前	後	●			
		物理学演習Ⅰ	1	後	●				
		物理学演習Ⅱ	1	前	後	●			
		地学	2	後	●				
		地学実験	2	後	●				
		地球科学	2	前	後	●			
	小計(18科目)	32							

区分	必選	科目名	単位数	開講期	1年	2年	3年	4年
生命環境化学専門科目	◎	生命環境化学特論	2	前	●			
	◎	コンピュータ実習Ⅰ	2	前	●			
	◎	コンピュータ実習Ⅱ	2	後	●			
	◎	生命環境化学基礎実験Ⅰ	2	前	後	●		
	◎	生命環境化学基礎実験Ⅱ	2	後	●			
	◎	生命環境化学専門実験Ⅰ	2	前	後		●	
	◎	生命環境化学専門実験Ⅱ	2	後		●		
	◎	生命環境化学ゼミ	2	後			●	
	◎	生命環境化学特論A ※3	2	後			●	
	○	生命環境化学特論B ※3	4	後			●	
	○	生命環境化学調査研究 ※4	2	前				●
	○	卒業研究 ※4	4	後				●
		有機化学Ⅰ	2	前	後	●		
		有機化学Ⅱ	2	後	●			
		有機化学演習	1	後	●			
		高分子化学	2	後		●		
		有機材料化学	2	後		●		
		有機反応論	2	前	後	●		
		物理化学Ⅰ	2	前	後	●		
		物理化学Ⅱ	2	後	●			
		物理化学演習	1	後	●			
		分析化学	2	前	後	●		
		機器分析	2	前	後	●		
		電気化学	2	前	後	●		
		表面科学	2	前	後	●		
		無機化学Ⅰ	2	前	後	●		
		無機化学Ⅱ	2	後	●			
		コンピュータ化学	2	前	後	●		
		無機材料化学	2	前	後	●		
		触媒化学	2	後	●			
		生体分子化学	2	前	後	●		
		代謝化学	2	後	●			
		酵素化学	2	後	●			
		分子生物学	2	前	後	●		
		細胞生物学	2	前	後	●		
		バイオテクノロジー	2	後	●			
		生体機能工学	2	後	●			
		神経生物学	2	後	●			
		環境計測Ⅰ	2	前	後	●		
		環境計測Ⅱ	2	後	●			
		環境計量Ⅰ	2	前	後	●		
		環境計量Ⅱ	2	後	●			
		環境化学	2	後	●			
		環境関係法規	2	後	●			
		資源化学	2	前	後	●		
		環境分析	2	後	●			
		化学工学概論	2	後	●			
		安全工学	2	前	後	●		
		工業化学	2	後	●			
		インターンシップ	2	前	後	●		
	△	情報処理Ⅰ	2	前	後	●		
	△	情報処理Ⅱ	2	後	●			
	△	生命環境化学特別演習	2	前	後	●		
	小計(53科目)	108						

《平成22年度版学生便覧》

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。

(注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。

(注記3) 必選欄の△印は、自由単位の科目を示す。

(注記4) ※1は、留学生の履修科目を示す。

(注記5) ※2の選択必修科目のうち、計2単位の取得を必修とする。

(注記6) ※3は、早期卒業見込者の履修科目を示す。

早期卒業の場合は、4年次の生命環境化学調査研究及び卒業研究に替え、

3年次に生命環境化学特論A及び生命環境化学特論Bを修得しなければならない。

(注記7) 卒業研究(※4)の履修は、生命環境化学調査研究(※4)の修得を条件とする。

◇生命環境化学科「生命環境化学コース」における進級・卒業要件は、次のとおりです。

【生命環境化学科<生命環境化学コース> 平成19年度(2007年度)入学者用】

区 分		2年への進級	3年への進級	4年への進級	卒 業				
一般共通科目	◎必修	2学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 30単位以上 を修得していなければなりません。	3学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 70単位以上 を修得していなければなりません。	10 単位	10 単位				
	○選択必修			-	-				
	選 択			16 単位	16 単位				
	小 計			26 単位	26 単位				
共通基礎科目	◎必修			2学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 30単位以上 を修得していなければなりません。	3学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 70単位以上 を修得していなければなりません。	8 単位	8 単位		
	○選択必修					2 単位	2 単位		
	選 択					18 単位	18 単位		
	小 計					28 単位	28 単位		
専 門 科 目	◎必修					2学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 30単位以上 を修得していなければなりません。	3学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 70単位以上 を修得していなければなりません。	16 単位	16 単位
	○選択必修							-	6 単位
	選 択							36 単位	48 単位
	小 計							52 単位	70 単位
合 計		30 単位	70 単位					106 単位	124 単位

<履修上限について>

◇1年間に履修できる単位数の上限は、50単位とする。
但し、教職科目、自由単位科目、インターンシップ及び科目に(再)の付く再履修科目は、履修上限に含めない。

<自由単位について>

◇各学年の進級及び卒業に必要な単位数のなかには、自由単位を含めることができない。
自由単位は、次のとおり、各教育課程に規定した単位数を超えて修得した単位のことをいう。
①一般共通科目において、必修10単位を含め、26単位を超えて修得した単位。
②共通基礎科目において、必修8単位、選択必修2単位を含め、28単位を超えて修得した単位。
③自由単位科目(△印の科目)及び教職科目にて修得した単位。

<振替加算する単位について>

◇共通基礎科目の選択必修科目から2単位を超えて修得した単位は、選択科目に振替加算する。

<進級及び卒業判定について>

◇2年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している1年の学生を対象とする。
◇3年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している2年の学生を対象とする。
◇4年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している3年の学生を対象とする。
◇卒業は、休学期間を除いて4年以上(8年以内)在籍し、卒業研究を修了している4年の学生を対象とする。
卒業には、学費を全納していなければならない。

<早期卒業について>

◇早期卒業については、早期卒業の認定基準を満たしていなければならない。

<留年生の復級について>

◇留年した学生が留め置かれた学年で、自由単位を除き、所定の単位を修得した場合は、教授会の議をへて該当学年への進級を認める。